

患者の皆様へ

2022年12月20日

血液内科

現在、血液内科では、「POEMS 症候群の骨病変に関する後方視的研究」を行っています。今後の治療に役立てることを目的に、この研究では、これまでに当院で POEMS 症候群と診断された患者様の診療情報などを利用して頂きます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

1. 研究課題名 「POEMS 症候群の骨病変に関する後方視的研究」

2. 研究の意義・目的

POEMS 症候群は、末梢神経障害をはじめとした様々な臨床症状を呈する、厚生労働省の指定難病となっている疾患です。リンパ球の一種である形質細胞の異常な増殖が病気の原因として考えられています。

POEMS 症候群の主要な兆候のひとつとして、背骨や骨盤骨の一部が硬化した病変がみられることがあります。一方で一部の症例では、骨を溶かす(溶骨性)病変がみられることもあり、同部位の組織検査で形質細胞の異常な増殖を認めることがあります。これらの骨病変を引き起こす原因や、骨病変の意義については未だ不明です。この研究では、骨病変の種類による予後の違いを明らかにすることで、これからの治療の選択に役立てることが期待できます。

3. 研究の方法

当院の電子カルテ端末を用いて患者の情報を収集し、治療内容、奏効率、生存率、再発率について調査を行います。

4. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、匿名化して管理し外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。データ等は、千葉大学大学院医学研究院血液研究室の鍵のかかる棚で保管します。

5. 外部への試料・情報の提供

当院のみで完結する研究であり、外部への試料・情報の提供はありません。

6. 研究組織

研究実施機関：千葉大学医学部附属病院 血液内科 塚田 恵美子
千葉大学医学部附属病院 脳神経内科 桑原 聡

7. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をします。下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて掲示を行っています。

研究実施機関：千葉大学医学部附属病院血液内科
本件のお問合せ先：千葉大学大学院医学研究院 総合医療教育研修センター
医師 塚本祥吉
043(222)7171 内線5259

研究代表機関：千葉大学医学部附属病院血液内科
研究代表者：塚田 恵美子